

(証券コード：6457 機械)

GLORY

グローリーの眼は、
ごまかせません。

おかげさまで、創業100周年

見分けるチカラで、未来を守る。



出典：国立印刷局



2018年10月10日

グローリー株式会社 コーポレートコミュニケーション部

國府 真弓

- 1. 会社概要**
- 2. 長期ビジョン2028**
- 3. 2020中期経営計画**
- 4. 株主還元について**
- 5. CSRについて**

会社概要

GLORY

事業内容

通貨処理機、情報処理機、
自動販売機、カードシステム、
サービス機器などの
開発・製造・販売・メンテナンス

創業

1918年（大正7年）3月

資本金

128億 92百万円

本社所在地

兵庫県姫路市

従業員数

(2018年3月末)

3,314名
(連結：9,040名)

連結業績

売上高 2,273億円

営業利益 196億円 (2017年度実績)

売上高 2,400億円

営業利益 200億円 (2018年度予想)

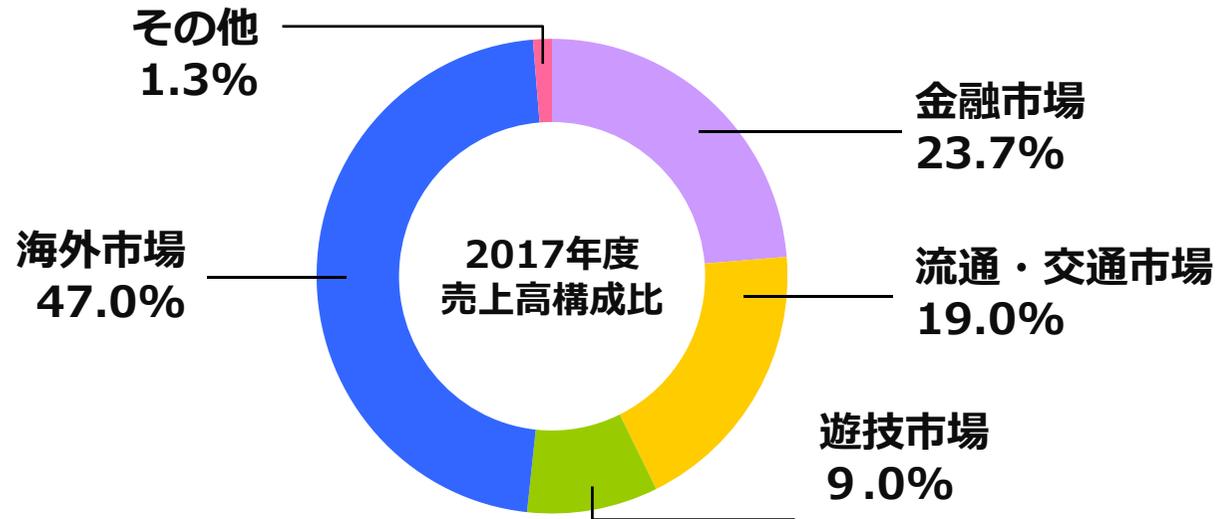


国産第1号の
硬貨計数機



代表取締役社長
尾上 広和

グローリーの事業領域



金融	流通・交通	遊技	海外	顔認証システム/ ロボットSI
 <p>主な販売先： 金融機関 OEM先</p>	 <p>主な販売先： スーパーマーケット、百貨店 警備輸送会社 鉄道会社、病院 たばこメーカー、自治体</p>	 <p>主な販売先： 遊技場 (パチンコホール等)</p>	 <p>主な販売先： 海外の金融機関 警備輸送会社 小売店、カジノ OEM先</p>	 <p>主な販売先： マンション、ホテル、化粧品製造 メーカー</p>

市場ポジジョン



銀行

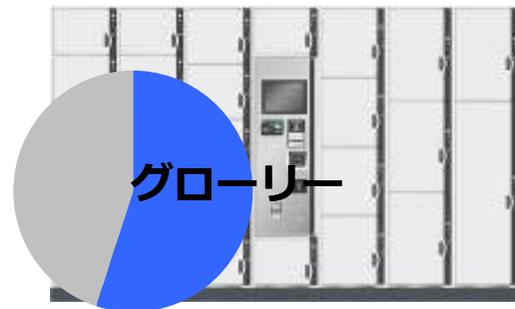
駅



オープン出納システム



窓口用紙幣硬貨入出金機



コインロッカー

百貨店・スーパー等

海外(銀行)



レジつり銭機



売上金入金機



窓口用紙幣入出金機

※2018年3月末時点（当社調べ）

3つの強み

1 研究開発力

業界初の製品・サービスを開発



【認識・識別技術】 通貨の真偽や正損を見分ける

【メカトロ技術】 通貨をすばやく正確に数える・仕分ける・束ねる

2 直接販売・直接メンテナンスのネットワーク

お客様ニーズに応えるご提案と
迅速なサービスを実現



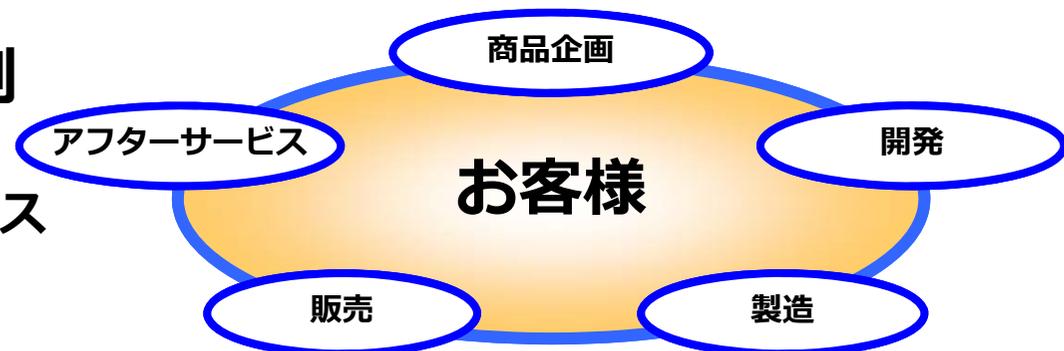
【国内】 110ヶ所以上



【海外】 20カ国以上

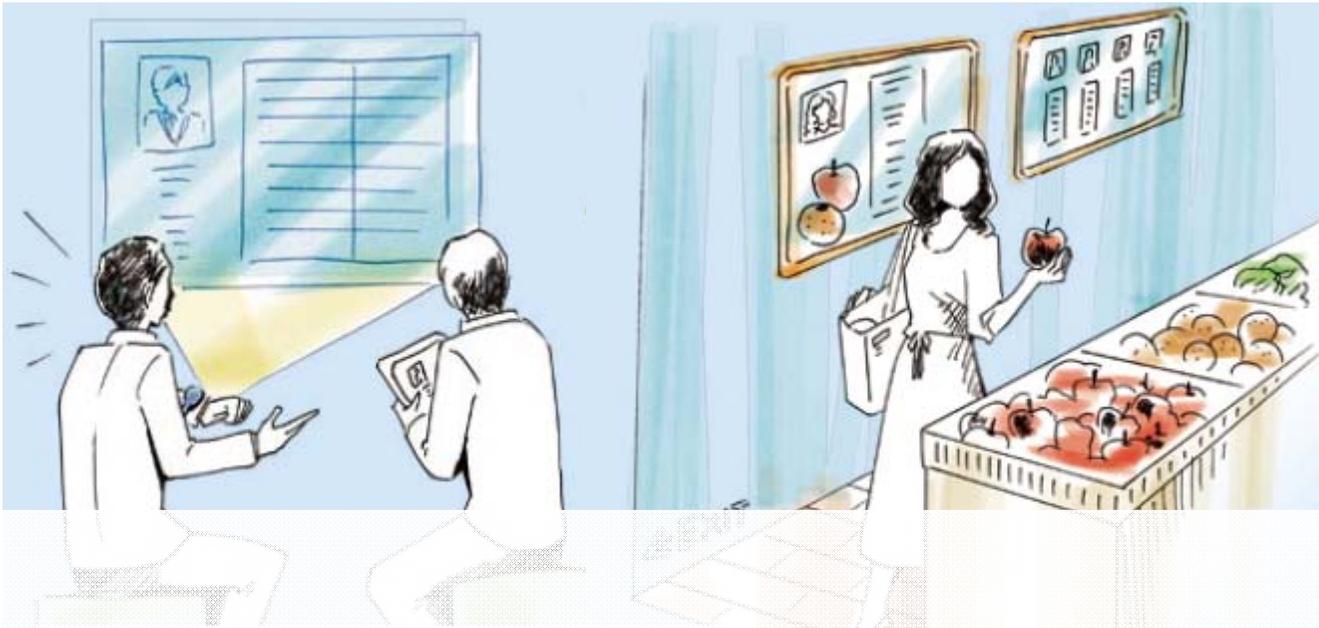
3 グループ一貫体制

商品企画からアフターサービス
までグループ内で完結

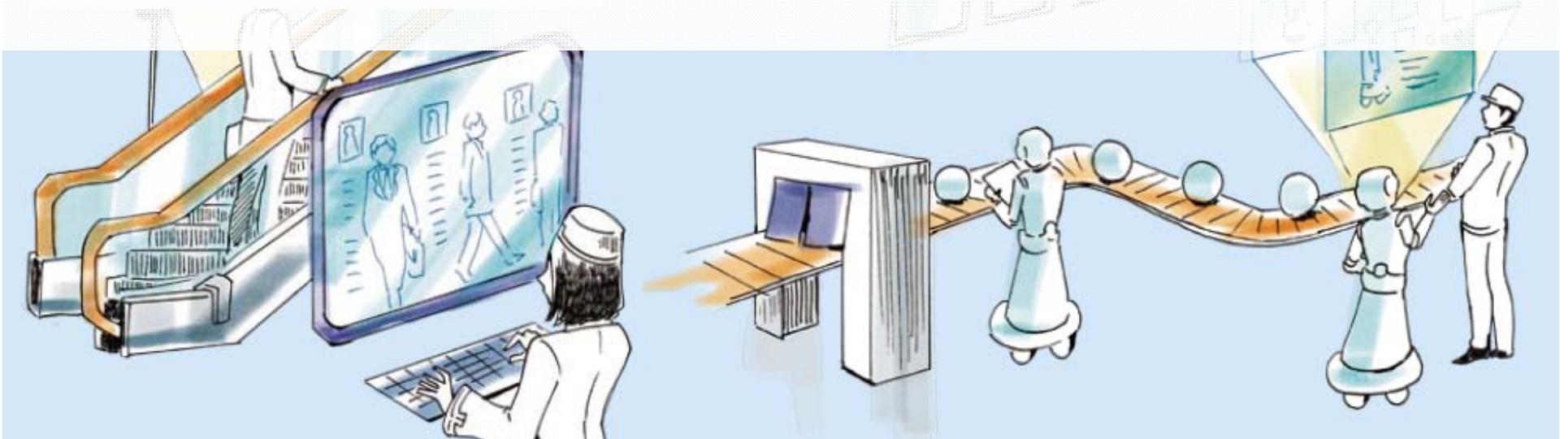


会社案内





長期ビジョン2028



今後10年に予想されること

GLORY

決済手段の多様化
～現金から非現金へ～

新興国における人口増・経済発展

技術の飛躍的な進化

安心・安全への意識の拡大

日本における人口減少・高齢化

人と社会の「新たな信頼」を創造する リーディングカンパニーへ

世界中の誰もが望む安全、安心、確実な社会。

安全でシームレスな決済手段や、
あらゆるシーンで自分自身であることを瞬時に証明する仕組みなど、
未来の社会には、「新たな信頼」が求められます。

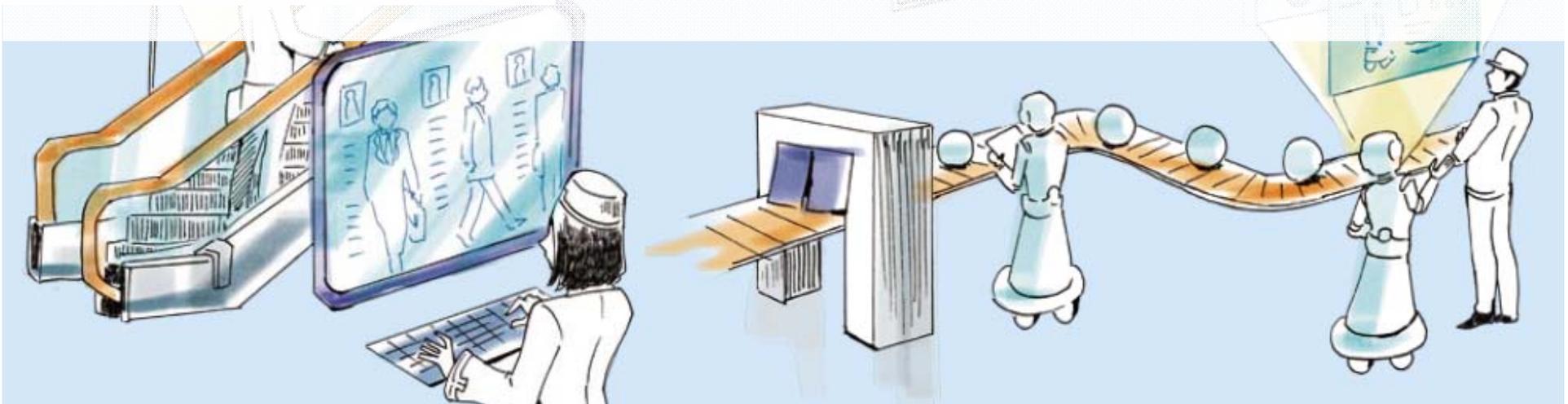
私たちは、あくなきチャレンジ精神と、通貨処理の枠を超えた先進技術で、
その未来を実現します。

お客様と共に「新たな信頼」を創造するリーディングカンパニーへ。

2027年度売上高目標 5,000億円 (2017年度実績：2,273億円)



2020中期経営計画



2020中期経営計画 -基本方針/業績目標-

GLORY

◆基本方針◆

1 既存事業

持続可能な事業運営の基盤づくり

2 新事業

社会課題解決に向けた協働の取組み強化

3 経営基盤

成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化

◆業績・経営目標◆

売上高	2,600億円
営業利益	250億円
営業利益率	9.6%
ROE	8.0%
戦略的投資枠（3事業年度）	600億円

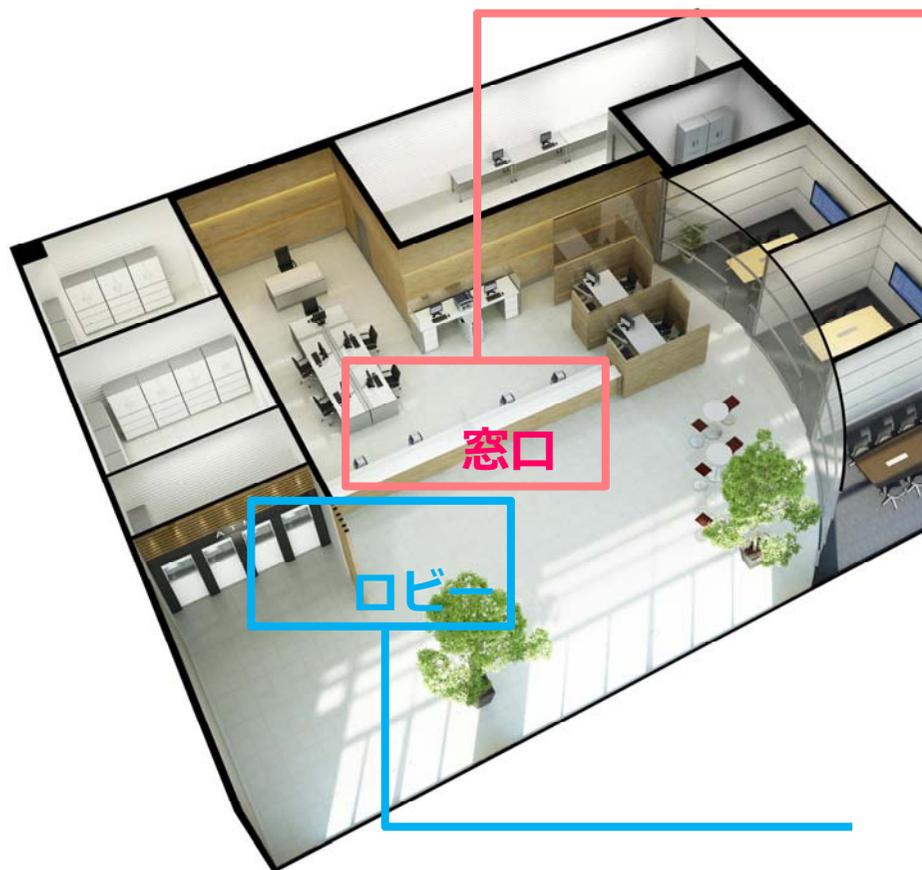


海外事業戦略



海外市場 - 金融機関向け主力製品 -

セルフオペレーション化に対応した製品
ラインナップにより金融事業を再成長



窓口用紙幣入出金機
窓口業務を効率化するシステム製
品によるソリューション提案を推進



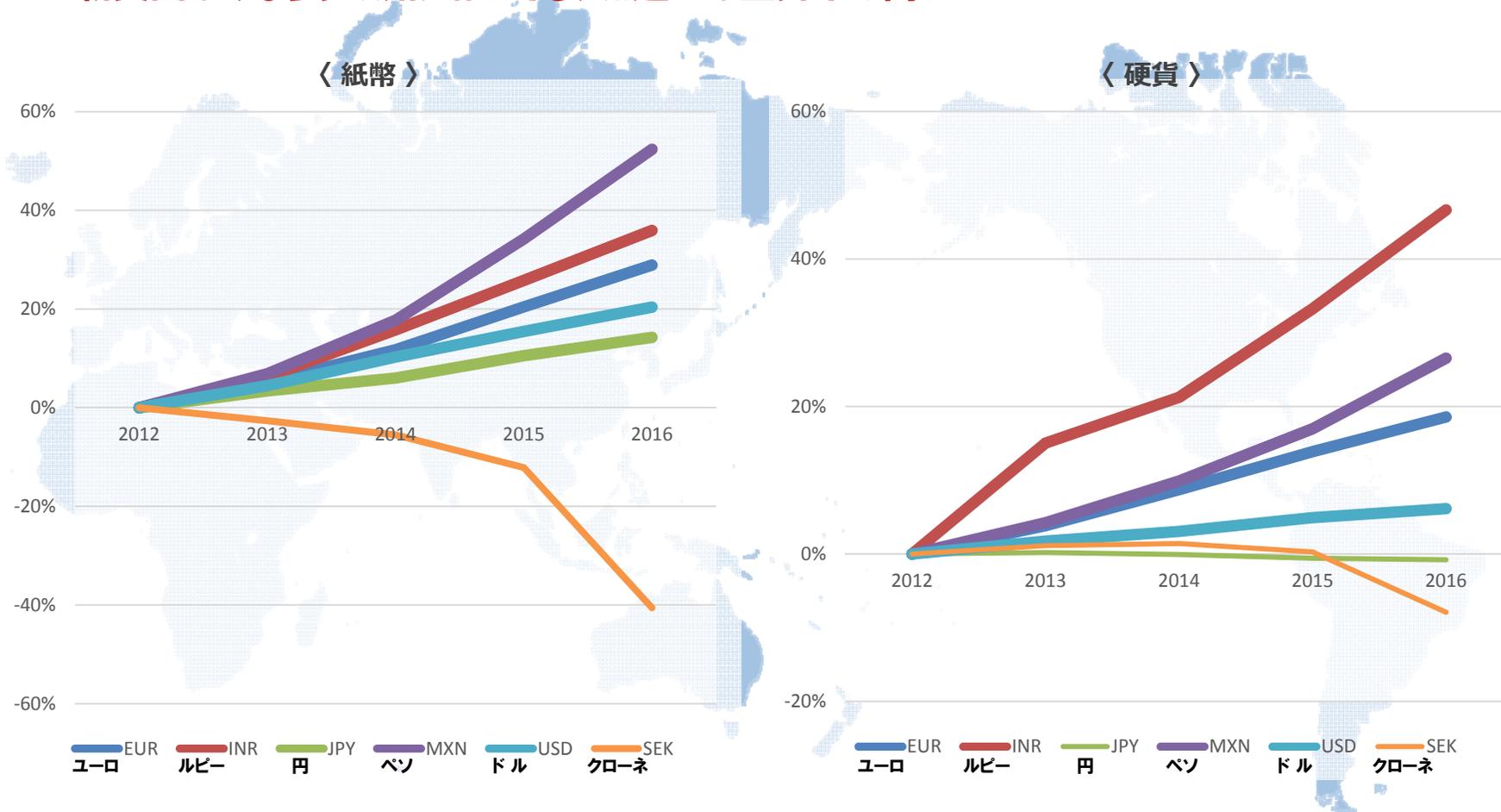
セルフ紙幣硬貨入出金機
<TellerInfinity™>
顧客自らが操作する
システム製品による
ソリューション提案を推進



海外市場 -市場ポテンシャル-

世界の通貨流通量の推移

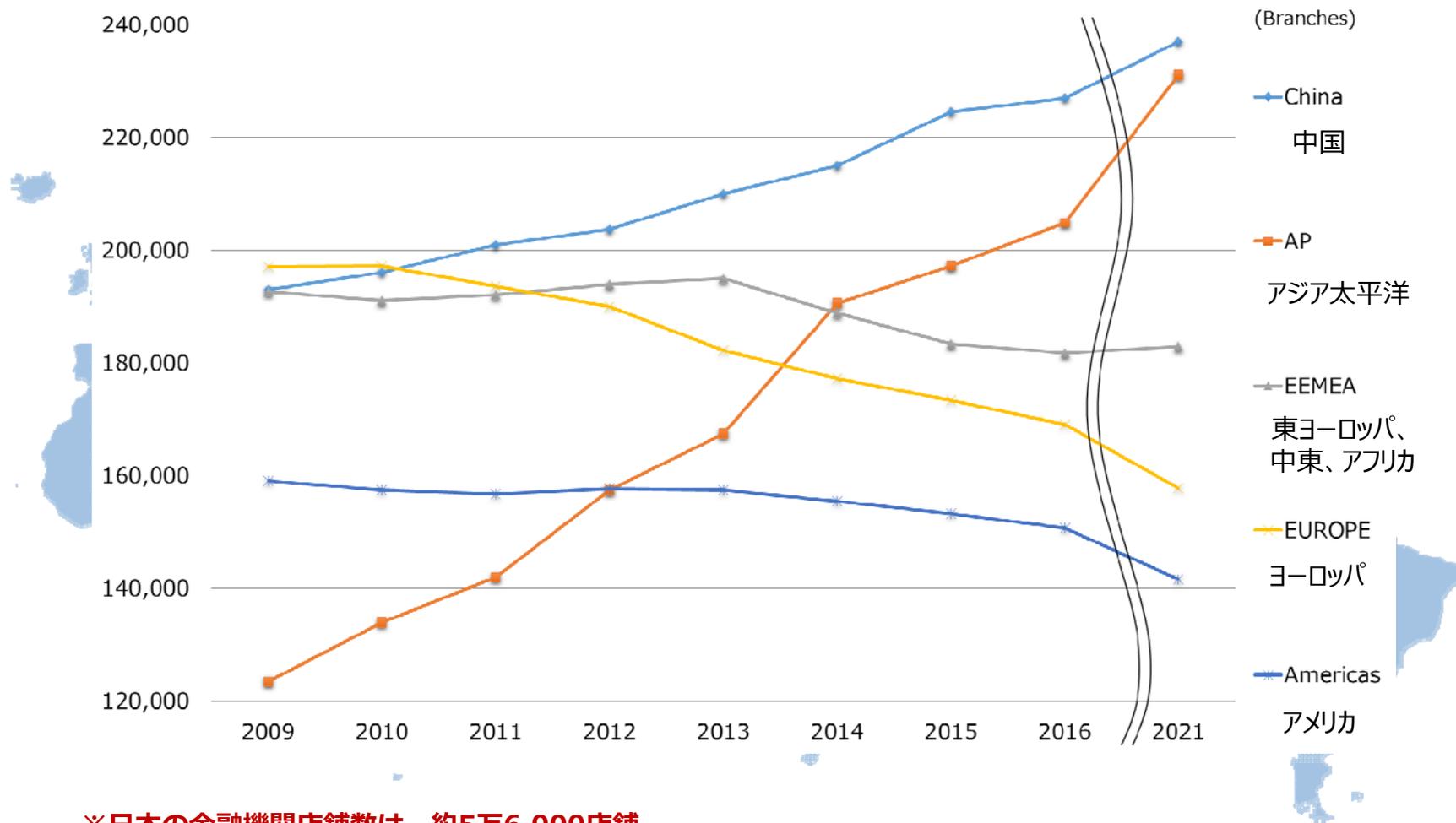
新興国のみならず欧州においても、流通量の上昇率が高い





海外市場 - 金融市場ポテンシャル -

世界の金融機関店舗数 予想



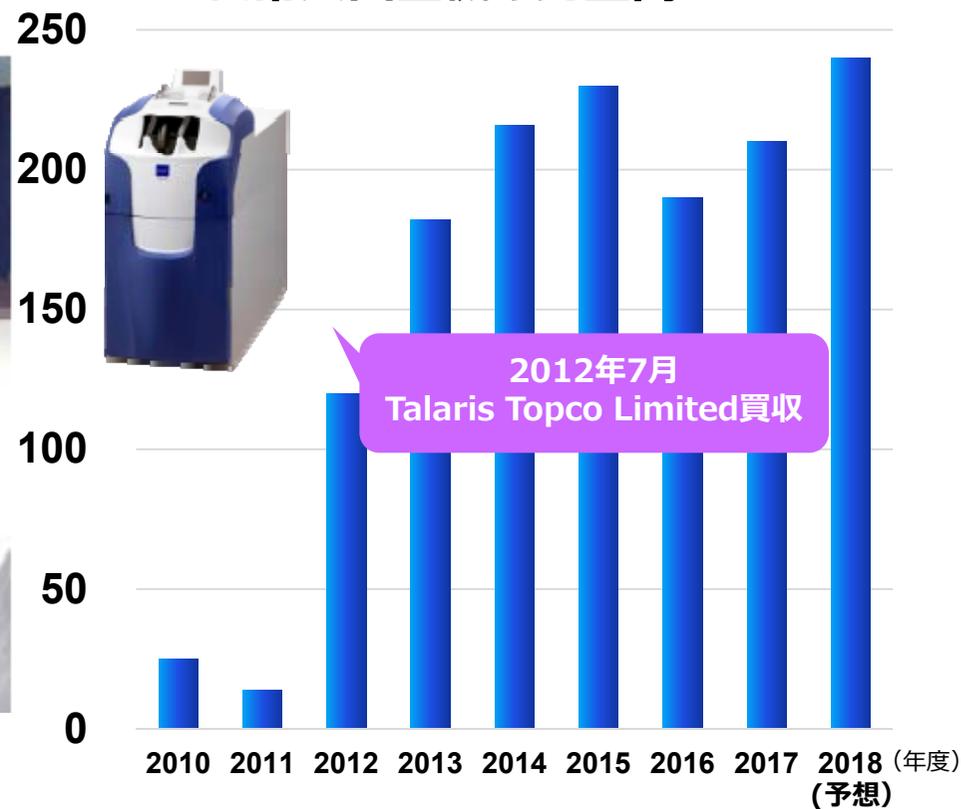
※日本の金融機関店舗数は、約5万6,000店舗

海外市場 - 金融市場へ向けた戦略 -

■ 紙幣入出金機の販売拡大



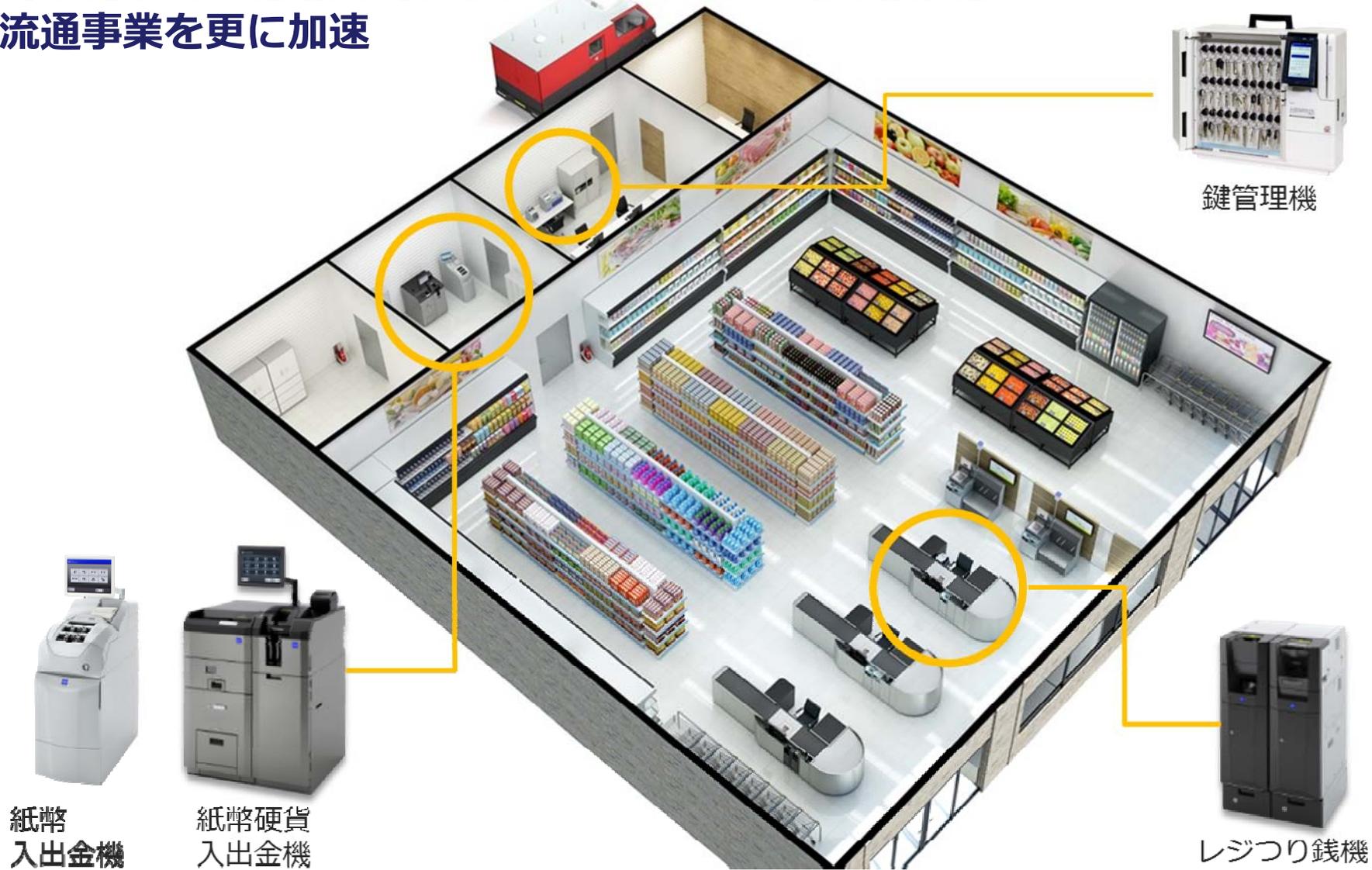
(億円) 紙幣入出金機の売上高



海外市場 一流通店舗向け主力製品



効率化や省人化を実現するソリューション提案を強化
流通事業を更に加速

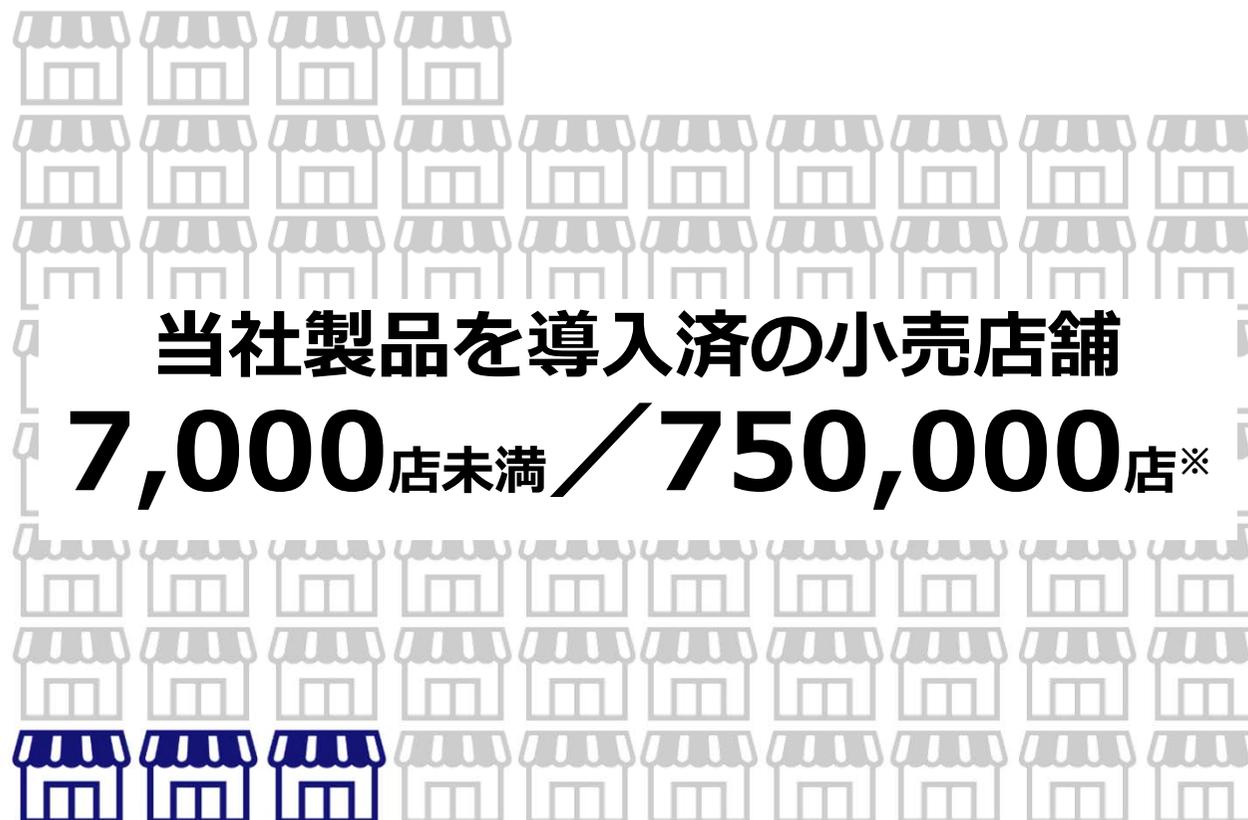


海外市場 一流通店舗向け製品 導入事例-



海外市場 -流通市場ポテンシャル-

● 海外流通市場のポテンシャル



※店舗数200以上かつ、店舗あたりの年間売上高100万ポンド以上、
つまり年間総売上高2億ポンド（約300億円）以上の海外小売業者を対象としたときの店舗数合計
出典：Planet Retail

海外市場 -流通店舗へ向けた戦略-

■ CASHINFINITY™の販売拡大

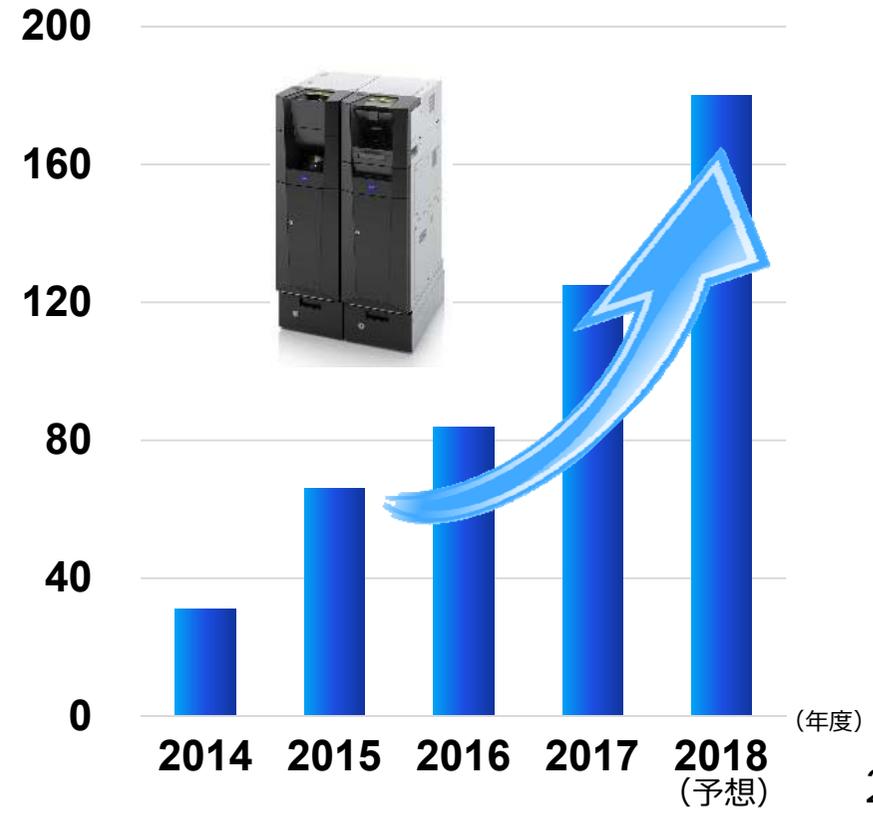


レストラン



スーパー

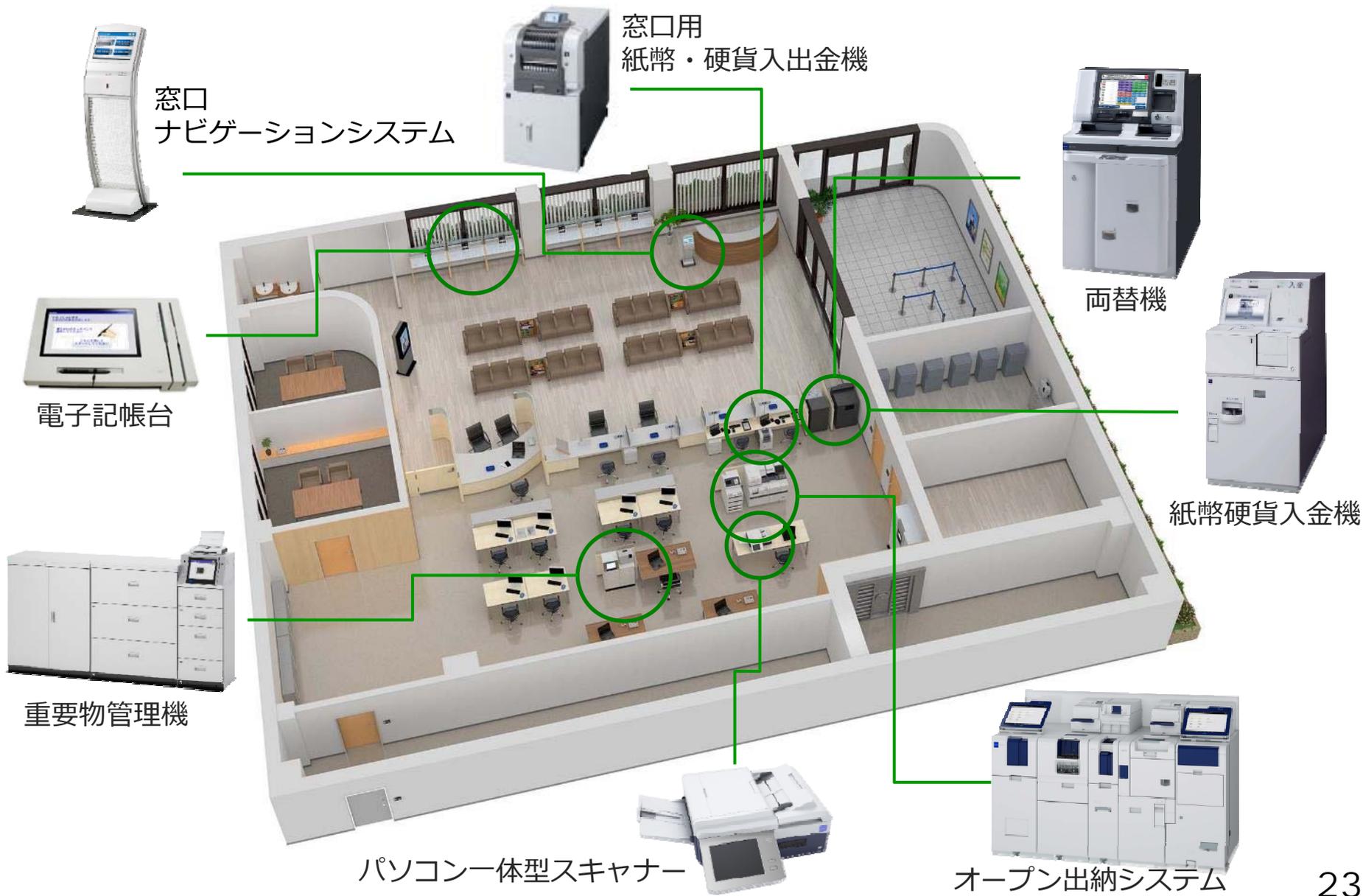
(億円) CASHINFINITY™の売上高



A man in a blue suit is standing at a desk in an office, looking towards another man whose back is to the camera. The desk has a Fujitsu computer monitor displaying a Japanese interface, a keyboard, and a printer. The background shows a window with horizontal blinds.

国内事業戦略

金融市場 -国内金融機関向け主力製品-

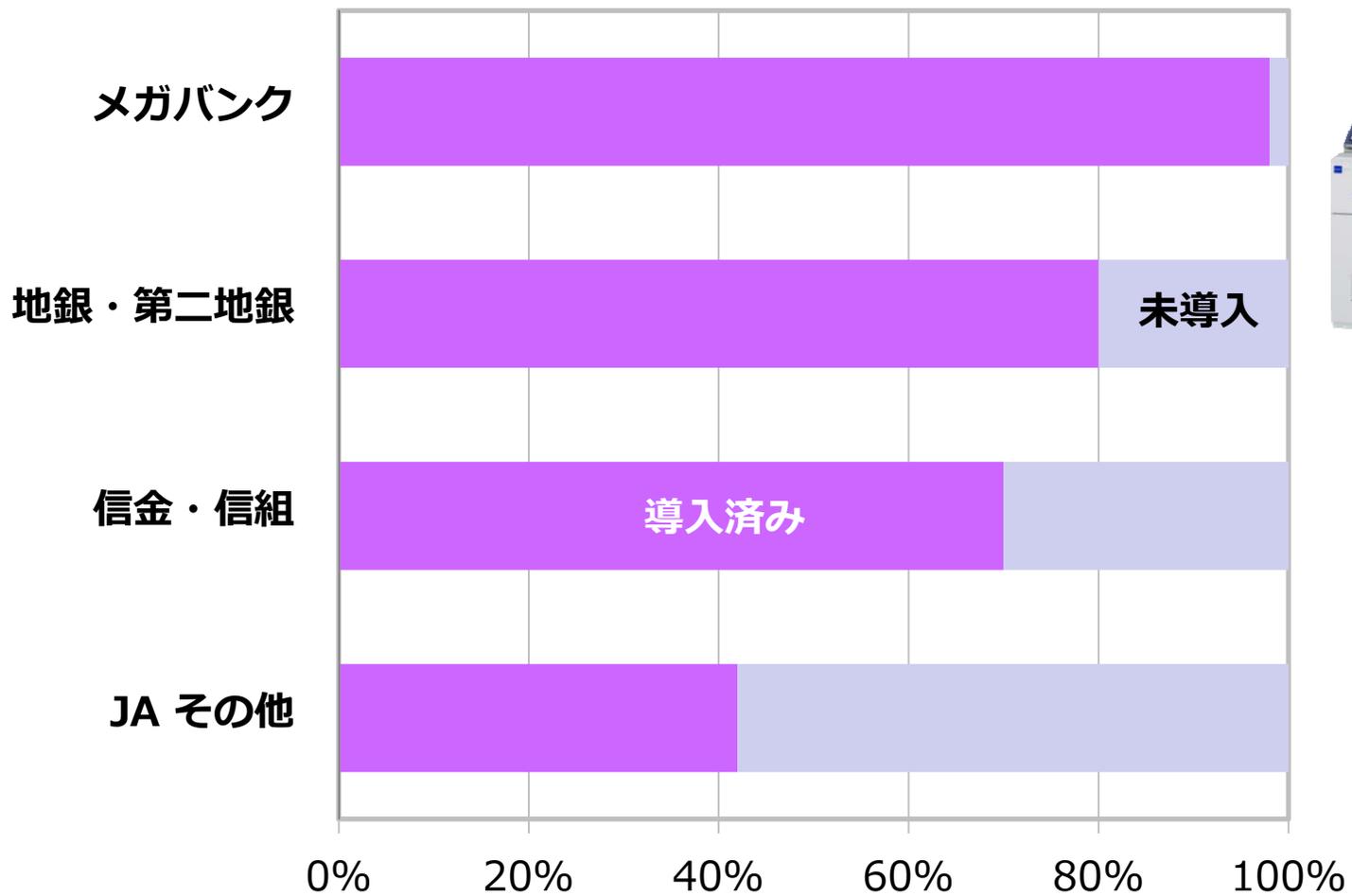


金融市場の事業戦略



オープン出納システムの導入率

(2018年3月末時点、当社調べ)



金融市場 - 次世代店舗スタイルの実現 -



流通・交通市場 - 流通店舗向け主力製品 -



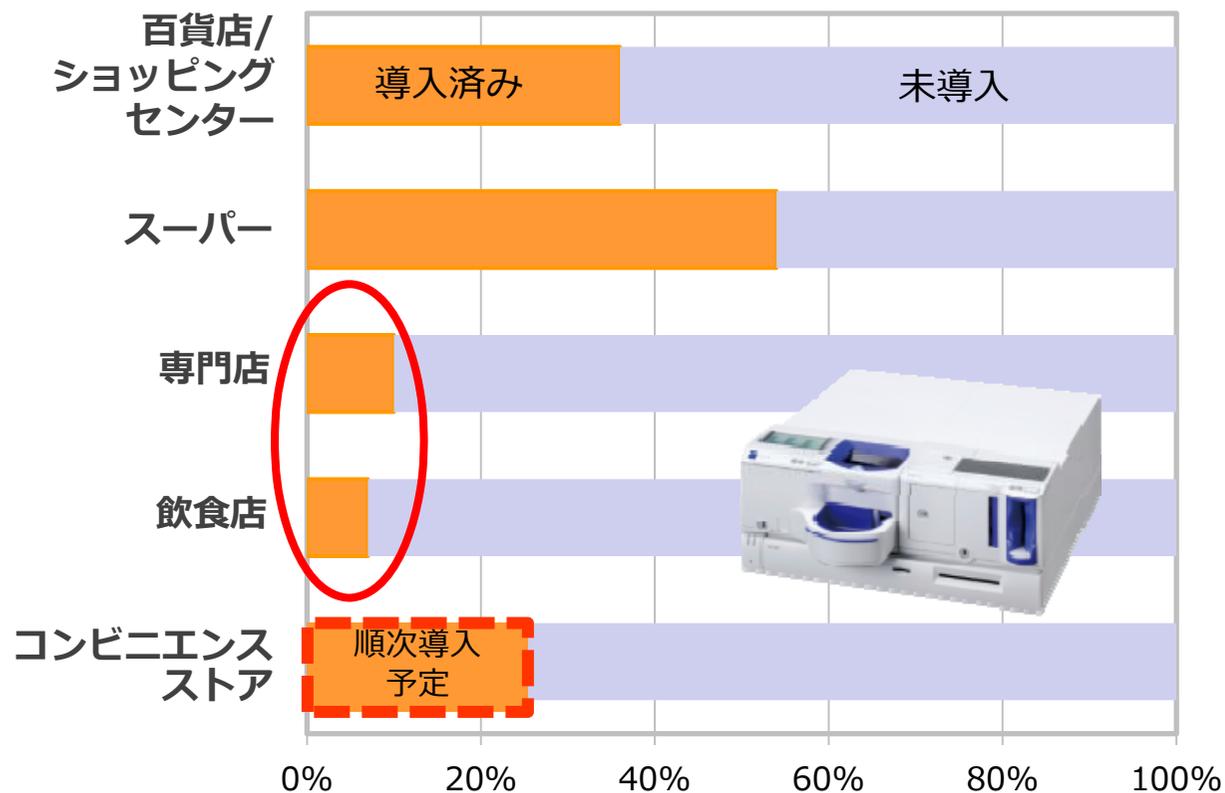
流通・交通市場の事業戦略



■ 専門店、飲食店等 新たな市場の開拓

レジつり銭機のポテンシャル

(2017年3月末時点 当社予測)



株式会社西松屋チェーン様



オリジン東秀株式会社様

電子決済サービス

電子決済サービスの提供

小売店・飲食店等
・電子マネー決済




電子マネー共通読み取り端末
PFMシリーズ

病院
・クレジット決済
・デビットカード決済




診療費支払機
FHPシリーズ

社員食堂
・クレジット決済




オートレジスター
PSAシリーズ




グローリーの
情報処理センター

決済端末とカード発行会社を
結び、カードによる商品や利
用料金の支払いが行える仕組
みを構築しています。

電子マネー事業者





SUGOCA PASMO

toica manaca

nimoca ICOCA





QUICPay

クレジットカード会社

VISA MasterCard JCB

AMERICAN EXPRESS Diners Club INTERNATIONAL

金融機関(デビットカード)



2020中期経営計画 -方針2-

新事業

社会課題解決に向けた協働の取組み強化

通貨流通の新たな管理スキーム構築

通貨のライフサイクルを管理できる新たなスキームを構築



多様な決済手段の提供

決済手段の多様化に向けたサービスインフラの強化



個体認証事業の確立

生体認証技術による安全・安心なソリューションの提供



自動化社会の推進

ロボットSIサービス提供による人とロボットの協働環境実現



顔認証システム事業

グローリーの顔認証システムの特長

『平均顔』を元にし、顔中心に『100カ所』の特徴を検出して認証。
顔全体の特徴を利用することで、メガネなどの『局所的な変化』に強く、経年変化にも対応。

●製品例● 離院事故予防システム

①登録

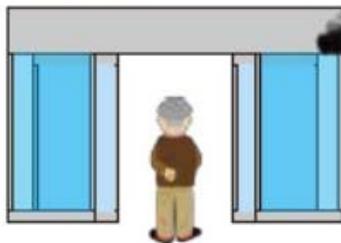
患者様とご本人とご家族からシステム利用の承諾をいただき顔写真データを登録



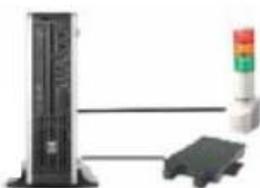
顔写真データを登録



②検知



顔を検知



発報



③通知

職員が現場へ急行し、確認



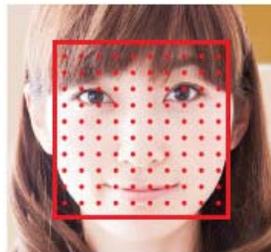
株式会社フュートレックとの資本業務提携契約の締結

GLORY

顔認識・認証技術と音声認識技術の融合による 新たなサービスの提供

～「2028長期ビジョン」に掲げた

新事業ドメイン「**個体認証事業の確立**」の実現に向けた生体認証技術の強化～



顔認識・認証技術

音声認識技術

ロボットSI事業

ASROF

～ ASROF (アスロフ) ～
Automation Smart Robot for Future



株主還元について

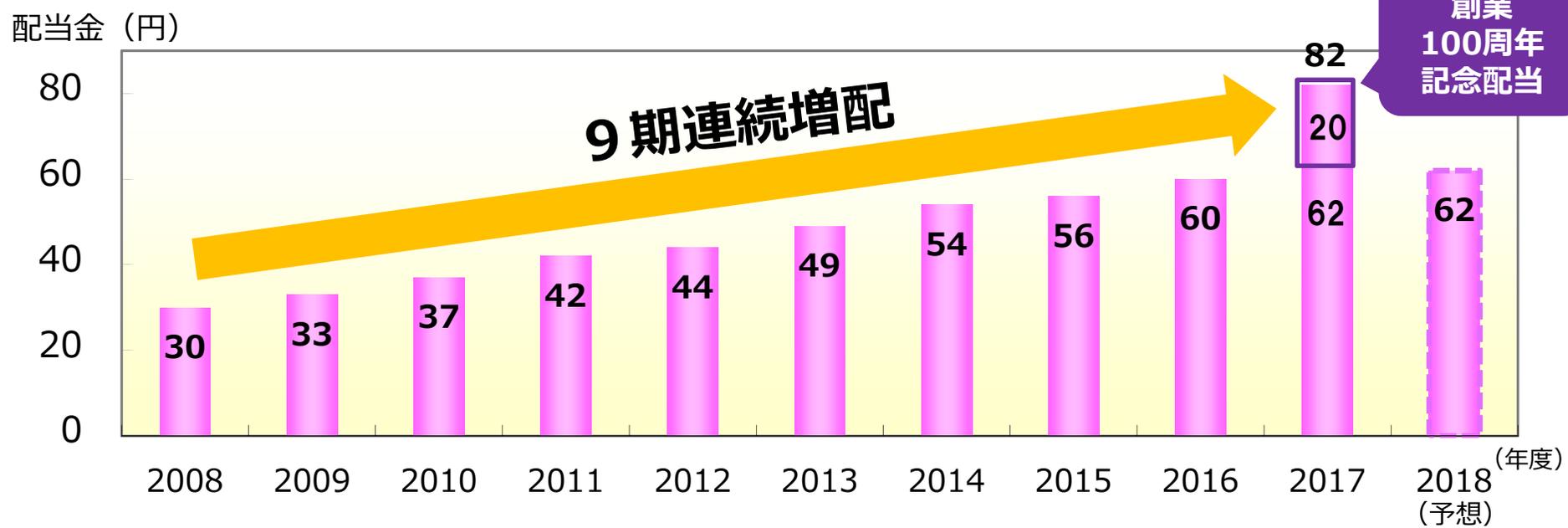


- 株主還元策
- 株価・出来高の推移

株主還元策



■ 連結配当性向30%以上を目標に配当を実施



自己株式の取得を実施
時期 : 2017年11月~12月
取得株数 : 143万株
取得価格 : 約60億円

株価・出来高の推移



※2013年7月15日以前は大阪証券取引所、2013年7月16日以降は東京証券取引所における株価・出来高です。

CSRについて



人材の育成



■グローバル人材の育成



グローバルな事業展開を支える人材の育成に注力。

■ダイバーシティ推進



女性のより一層の活躍を推進。
管理職候補の育成を目的としたカレッジを開講。

■ワークライフバランス



構内に社内保育所を設置。
育児をしながらキャリア形成を目指す社員をサポート。

社会への貢献



■ 事業活動を通じた社会貢献活動

製品の検査工程で用いた硬貨を、公益財団法人日本ユニセフ協会に寄付しました。



■ 子どもたちの育成支援



毎年約3,000名の小学生と保護者を劇団四季によるファミリーミュージカルにご招待。

■ スポーツ振興



兵庫県姫路市に拠点を置く日本初の女子プロバレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」を応援！

ゼネラルマネージャー：眞鍋政義氏
(元全日本女子バレーボールチーム監督)

監督：竹下佳江氏
(元全日本女子バレーボールチーム選手)



株主・個人投資家の皆さまへの情報発信

1. メール配信サービスのご案内

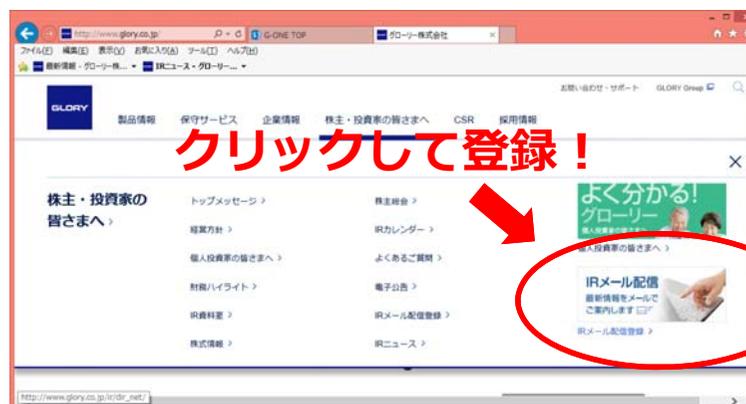
当社の最新情報を
メールでお知らせします。

スマートフォンから



QRコードを
読み取って登録！

パソコンから



2. 株主通信「グローリーレポート」

当社の現況を、年に2回ご報告しています。
バックナンバーもウェブサイトよりご覧いただけます。



<ご注意>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくことなる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 2015年度より、海外現地法人の収益及び費用の換算方法を「期末日レート」から「期中平均レート」に変更し、2014年度の財務数値に遡及適用しております。2013年度以前は、「期末日レート」による財務数値です。
3. 2016年度より、事業セグメントを見直したことに伴い、従来「その他」に含まれて製品の一部を「金融市場」「流通・交通市場」に区分変更しております。2015年度のセグメント別売上高につきましては、変更後のセグメント区分で記載しております。
4. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。

